

プリンス・ロバート

- 1 ロバートはきれいな娘と結ばれました  
指輪を贈る約束で  
ロバートはきれいな娘と結ばれました  
でも 家には連れて帰れない
- 2 「祝福をお与えください お母さん  
今すぐに祝福を」  
「祝福ではなく 呪いをおまえに  
祝福なんて もつてのほかよ」
- 3 母親は侍女を呼び寄せて  
ワインをグラスにつがせました  
母親は悪い執事を呼び寄せて  
強い毒をもらせました
- 4 母親は醜い唇にグラスを当てて  
醜い顎にグラスを当てて  
醜い醜い口元にグラスを当てて  
でも 一滴も飲みません
- 5 ロバートは きれいな口元にグラスを当てて  
きれいな顎にグラスを当てて  
赤い唇にグラスを当てて  
強い毒入りワインを一息に飲み干しました
- 6 「息子に毒をもったのですか お母さん  
あなたの世継の息子に毒を  
息子に毒をもったのですね お母さん  
もうこの世に あなたの息子はいませんよ
- 7 「誰か使いを  
靴下と靴を履き  
ダーリントンまで急いで行って  
エリーナに すぐ来るように伝えてくれ」
- 8 すると 小姓が立ち上がり  
靴下と靴を履いて 言いました  
「ダーリントンに出かけて行って  
エリーナ様にすぐ来てくださいと伝えます」
- 9 小姓はダーリントンに急いで行って

娘の戸口をトントンたたくと  
エリーナが真っ先に起きだして  
小姓を中に入れました

10 「お義母様が豪華な食事にお呼びです  
とても見事な料理です  
お義母様がおいしい食事にお呼びです  
すぐにいらして お食事を」

11 シラトーンの町まで二十マイル  
こんな長旅初めてでしたが  
馬は強く 乗り手は軽く  
エリーナは息急ぎ切つてやってきました

12 シラトーンの町に着き  
シラトーンの屋敷に着くと  
かがり火が燃え  
侍女たちが声張り上げて泣いています

13 「花婿様はいずこでしようか  
愛する方はどちらでしようか  
ああ 花婿様はいずこでしようか  
お姿が見えません」

14 「おまえの花婿は死にました  
今しがた お墓の方に運ばれました  
おまえの花婿は死にました  
今しがた 埋められたばかりです

15 「息子の財産も財宝も  
なに一つ おまえには渡さない  
広い領地も一坪たりとも渡さない  
おまえの心臓は三つに砕けるがいい」

16 「財産も財宝もありません  
領地もほしくありません  
ただ あのかたの指輪をわたしに  
それは わたしにくださる約束でした」

17 「息子の指輪など  
おまえには渡せない

息子の指輪など もつてのほか  
おまえの心臓は三つに砕けるがいい」

18

娘はくるりとまわって壁を向き

岩に顔を向けて立ちました  
義母の目の前で

心臓を打ち砕かれたのでした

19

ロバートは聖メアリ教会に埋められて

エリーナは聖歌隊席に埋められて

片方からは樺の木が

片方からはイバラの木が生えました

20

ふたつは出会い からまりました

樺の木とイバラの木

これで見なさん おわかりでしょう

ふたりはまことの恋人でした

(山中光義訳)